

2022年3月10日

第20回広島県NIE教育奨励賞の決定について

広島県NIE推進協議会

広島県NIE推進協議会(会長・朝倉淳 安田女子大教授)は、優れたNIE活動の実践に贈る「第20回NIE教育奨励賞」の受賞者(学校含む)を決定しました。

第20回の対象は、2021年度NIE実践指定校及び個人の応募を合わせた32点。朝倉会長を委員長に、県NIE推進協議会の役員など7人で審査し、賞は、最優秀奨励賞1点、優秀奨励賞3点、優良奨励賞5点を選びました。

受賞者・校の一覧は、次ページに掲載しました。なお、受賞者の所属校は実践時となります

第20回 広島県NIE教育奨励賞受賞者

2022年3月10日発表

※受賞者の学校名は原則として実践時の所属校

賞	受賞者(敬称略)	学校名	タイトル
最優秀奨励賞	藤井 雅子	海田町立海田西小学校	自分の考えを再構築させるNIEをめざして ～実生活・実社会に関わる学びを通して～
優秀奨励賞	江田島市立中町小学校	江田島市立中町小学校	自ら学び、考え、表現する児童の育成 ～授業におけるICT及び新聞の効果的な活用を通して～
優秀奨励賞	服部 綾	尾道市立美木原小学校	「豊かな言葉と心」「読む力」を育む『NIE』 ～新聞を通して育む考える力・伝え合う力～
優秀奨励賞	鶴田 輝樹	広島大学附属中・高等学校	SDGs達成に向けたNIE実践の開発②～持続可能な世界を目指す新聞活用学習を中心として～
優良奨励賞	森河 真愛子	尾道市立栗原小学校	資質・能力を伸ばすために新聞を活用しよう ～学校全体・各教科での取組を通して～
優良奨励賞	岡川 和彦	呉市立横路小学校	小学校段階でのパラダイムシフトをめざそう！「新聞活動」レッツ！エンジョイ通信
優良奨励賞	椿山 尚美	尾道市立重井中学校	新聞から学んだことを表現する
優良奨励賞	為重 慎一	広島国際学院中学校・高等学校	NIEプラットフォームに基づいた大学入試活動 ～生徒－社会－生徒の将来をNIEを通してつながり、つなげていく
優良奨励賞	山木 肖嗣	広島三育学院中学高等学校	令和3年度 NIE実践報告「問題解決能力を育むNIE授業実践」

2022年3月10日

《第20回 広島県NIE教育奨励賞 講評》

審査委員長（広島県NIE推進協議会長）

朝倉 淳（あさくら・あつし、安田女子大学教授）

第20回の教育奨励賞については、2021年度広島県NIE実践指定校の実践報告及び個人で応募のあった2021年度の実践報告32点から、最優秀賞1点、優秀賞3点、優良賞5点を選考しました。

最優秀賞の海田町立海田西小学校の実践報告では、実生活・実社会に関わるプロジェクト型学習の過程に新聞が機能的に活用され、主体性やメタ認知力などの育成に成果を上げたことが高く評価されます。

また、受賞となった各実践報告には、NIEタイムや環境構成など日常的な取り組み、各教科等の授業実践などについて、意図や活用法の実際、成果などが明確に示されています。速報性、一覧性、詳報性など新聞の特徴がよく生かされていました。

実践報告の全体を概観すると、コロナ禍におけるNIEの工夫、新聞記事を使ったSDGs学習、ICTと新聞の効果的活用など、今日的状況と関連づいた取り組みが多くみられました。選に漏れた報告にも、取り組みの発展や新たな活用法の開発など、充実した内容が記されていました。社会が激しく変化する中であるからこそ、現在進行形で日々を記録する新聞が積極的に活用され、児童・生徒の一層の成長につながることを願っています。